

第18次調査の概要

どこを（調査場所）



赤線は平成23(2011)年3月8日に国指定された範囲

いつ（調査期間）

平成11(1999)年5月15日～6月15日

だれが（調査した人）

三浦市教育委員会

調査概要

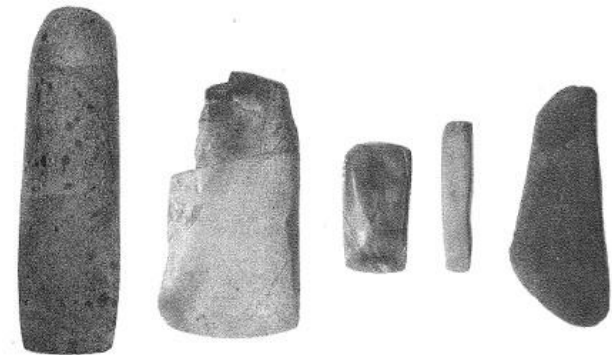
所在地 神奈川県三浦市初声町下宮田字赤坂485番 1
調査面積 109㎡
調査原因 個人住宅新築に伴う調査
主な遺構 住居址3軒 溝状遺構1条 土坑4基

主な遺物 [広口壺形土器](#)・[小型広口壺形土器](#)・[大型壺形土器](#)・[深鉢形土器](#)・[挟入石斧](#)・[砥石](#)・[石英製剥片](#)1点・[石英製礫](#)23点・[メノウ製剥片](#)2点・[小型ノミ](#)1点・[扁平片刃石斧](#)2点・[礫](#)24点

特記事項 弥生時代中期後半の住居址と後期のものと思われる溝状遺構、時代不詳の土坑とともに完形の土器群はじめ比較的多くの石器群が出土した。特に[石英](#)・[メノウ製の剥片](#)・[礫](#)の出土については、隣接する第3次調査地点の中期住居址において出土例があり、玉造りとの関連も示唆される。(参考文献：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第6集・2001年3月』)



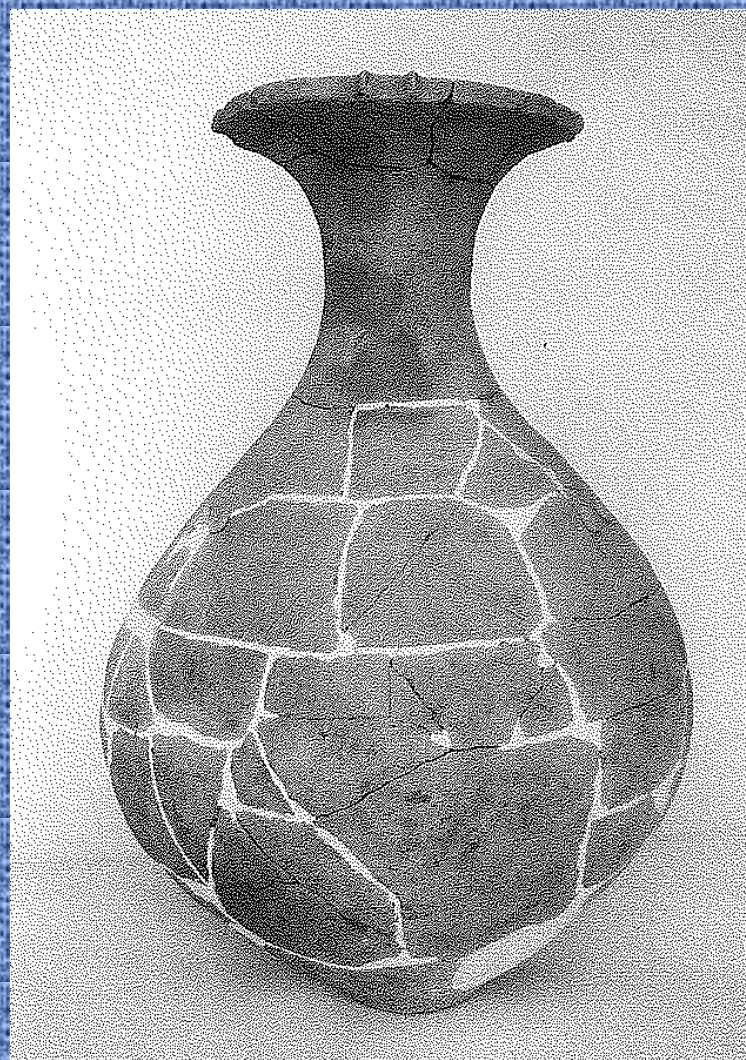
調査風景、第2号住居址より出土した土器を検出している様子(所蔵：三浦市教育委員会)



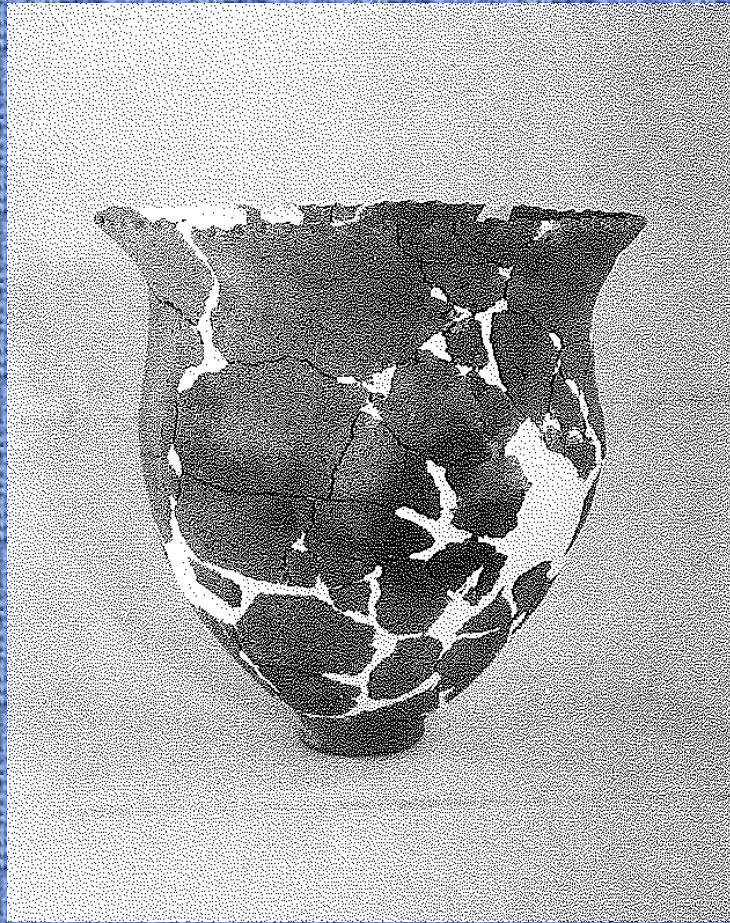
第2号住居址より出土した石器。左より、挟入石斧、扁平片刃石斧、扁平片刃石斧、柱状片刃石斧、砥石。(出典：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第6集・2001年3月』)



広口壺形土器、左が大型広口壺形土器、右が小型広口壺形土器。
第2号住居址の床面直上より出土。(出典：『三浦市埋蔵文化財
調査報告書第6集・2001年3月』)



大型壺形土器、第2号住居址の床面直上より出土。
(出典：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第6集・2001年3月』)



深鉢形土器、第2号住居址の床面直上より出土。
(出典：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第6集・2001年3月』)



石英・メノウ製剥片・礫

(出典：『三浦市埋蔵文化財調査報告書第6集・2001年3月』)